

コアシンポジウム1

「消化管診断学の新展開 拡大・超拡大内視鏡診断の最前線」

主司会 八尾 隆史（順天堂大学大学院医学研究科人体病理病態学講座）

副司会 田中 信治（広島大学大学院医系科学研究科内視鏡医学）

消化管の画像強調観察の進歩に伴い拡大内視鏡観察が臨床の場で急速に普及している。また、顕微内視鏡観察（超拡大観察、共焦点レーザー内視鏡観察）も機器が一般臨床で使用できるようになった。さらに、これらの診断学へのAIの導入も盛んに研究が進んでいる。画像強調観察に関しては、さらに新しいモダリティも開発が進んでいる。本セッションでは、腫瘍から炎症性疾患に関する消化管の拡大・超拡大内視鏡診断学の最先端の研究成果に関する演題を、一般化のための教育・トレーニング法も含めて公募する。